

公立大学法人金沢美術工芸大学
平成27年度 業務実績評価書

平成28年 8月

金沢市公立大学法人評価委員会

目次

I	評価方法.....	1
1	評価の構成.....	1
2	項目別評価.....	1
	ア 法人による自己評価	
	イ 評価委員会による評価	
3	全体評価.....	2
II	評価結果.....	3
1	全体評価.....	3
2	項目別評価.....	4~7
	第1-① 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（教育に関する目標）	
	第1-② 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（研究に関する目標）	
	第1-③ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（その他の目標）	
	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標	
	第3 財務内容の改善に関する目標	
	第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	
	第5 その他業務運営に関する重要目標	

I 評価方法

1 評価の構成

「項目別評価」及び「全体評価」による。

2 項目別評価

ア 法人による自己評価

法人が作成した年度計画の最小単位の項目（以下「小項目」という。）ごとに、法人自らが、その進捗状況を次の4段階の評価区分により、判断理由を付して評価する。

※ 年度計画の大項目第6から第10に関しては業務実績のみのため記載省略

【評価基準】

評価区分	評 価 内 容
Ⅳ	年度計画を上回って実施している。
Ⅲ	年度計画を十分に実施している。
Ⅱ	年度計画を十分には実施していない。
Ⅰ	年度計画を実施していない。

イ 評価委員会による評価

(7) 評価委員会は、法人が行った自己評価の結果について妥当性を確認し、法人と評価の結果が異なる場合は、評価が異なる理由を示すものとする。

(4) 評価委員会は、(7)の評価結果を踏まえ、法人の業務実績を総合的に検証し、中期目標の次の大項目（大学の教育研究等の質の向上に関する目標については、中項目）ごとに、その進捗状況を次の5段階の評価区分により評価するとともに、特筆すべき事項や改善が望まれる事項についてコメントを付す。

年度計画	大項目（中項目）
第1	① 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 （教育に関する目標）
	② 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 （研究に関する目標）
	③ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 （その他の目標）
第2	④ 業務運営の改善及び効率化に関する目標
第3	⑤ 財務内容の改善に関する目標
第4	⑥ 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標
第5	⑦ その他業務運営に関する重要目標

※（ ）内は中項目

【評価基準】

評価区分	評 価 内 容
S	中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある
	※ 評価委員会が特に認める場合
A	中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる
	※ 評価委員会の小項目別評価が全てⅣまたはⅢ(注)
B	中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる
	※ 評価委員会の小項目別評価のⅣまたはⅢの割合が9割以上(注)
C	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている
	※ 評価委員会の小項目別評価のⅣまたはⅢの割合が9割未満(注)
D	中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある
	※ 評価委員会が特に認める場合

(注) 評価区分は目安であり、社会情勢等の変化による進捗の遅れや、小項目の比重を考慮して評価委員会で判断

3 全体評価

評価委員会において、「項目別評価」の結果を踏まえ、中期計画の進捗状況全体について記述式により評価する。なお、評価を通じて得られた大学運営に関する課題や改善事項等についても、併せて記載するものとする。

また、評価制度が大学運営の検証という役割に加えて、大学の活動状況を市民に公表する役割も担っていることから、大学の特色ある取り組みや工夫等については、積極的に評価するものとする。

Ⅱ 評価結果

□ 全体評価

年度計画に定めた全ての項目が着実に実施されており、項目別評価においても全項目がA評価（中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる）であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

公立大学法人への移行後6年目であり、第一期中期目標期間の最終年度となった平成27年度も、業務内容を充実させるために積極的に取り組む姿勢が随所に見受けられた。

以下に、大学の特色ある取組や工夫等として評価できるものを挙げる。

- ・ 教育の質の向上に関しては、産学連携研究や地域での芸術活動の依頼を積極的に受託・参画して、実社会の課題を通じて経験を重ねる教育を実施し、その成果に対しても社会から高い評価を受けたこと。総務省の制度を活用して、金沢市と学生の県内定着率向上等を目的とする連携協定を締結し、それに基づき、各種事業を実施したこと。
- ・ 研究の質の向上に関しては、金沢21世紀美術館で開催した中国清華大学美術学院との交流展において、両大学の美術、芸術理論を中心とする61名の教員の作品や研究成果を、展覧会・講演会・シンポジウムを通して多くの人に紹介したこと。
- ・ 社会連携に関しては、ユネスコ（国連教育科学文化機関）、金沢市、金沢創造都市推進委員会が主催したユネスコ創造都市ネットワーク会議金沢2015にあわせて「平成の百工比照」展を開催し、約11,000人もの来場者を集めたこと。
- ・ その他業務運営に関しては、大学の資産や知的財産を取り扱うため、新たに知財管理部門を設置するなどの組織改編を実施したこと。外部資金の導入に積極的に取り組み、多くの寄付を受けたこと。

□ 項目別評価

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（教育に関する目標）

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 53 の小項目のうち、Ⅳ評価（年度計画を上回って実施している。）が 4 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している。）が 49 項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ 産学連携事業を 15 件、地域連携事業を 17 件実施するなど、教育的効果が期待できる事業に積極的に参画する中で、北陸新幹線開業 PR ポスターが第 63 回日本観光ポスターコンクールで国土交通大臣賞を受賞するなど、その成果に対しても、社会から高い評価を受けたこと。
- ・ 今後の大学院教育のあり方や教育内容を検討するための「大学院改革ワーキンググループ」を設けて大学院改革の基本構想を議論し、その結果を学長に答申したこと。
- ・ 総務省の制度を活用して金沢市と学生の県内定着率向上等を目的とする連携協定を締結し、その内容を具体化するため、地元企業との初の就職情報交換会や 1 DAY インターンシップ、短期工房等派遣実習を実施したこと。
- ・ 作家としての自立を目指す学生を支援する事業として、卒業生・修了生の作品を買い上げるよう金沢市に働きかけた結果、金沢市により 8 点が買い上げられ、その作品が市の施設である「金沢学生のまち市民交流館」に常設展示されたこと。

2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（研究に関する目標）

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の15の小項目のうち、Ⅳ評価が1項目、Ⅲ評価14項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ 金沢21世紀美術館で開催した中国清華大学美術学院との交流展において、両大学の美術、芸術理論を中心とする61名の教員の作品や研究成果を、展覧会・講演会・シンポジウムを通して多くの人（展覧会の入場者数：10日間で8,685人）に紹介したこと。

3 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（その他の目標）

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の23の小項目のうち、Ⅳ評価が2項目、Ⅲ評価21項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ ユネスコ・クラフト創造都市に関連した芸術教育研究事業として、5月のユネスコ創造都市ネットワーク会議にあわせて「平成の百工比照」展を開催し、約11,000人もの来場者があったこと。
- ・ 北陸先端科学技術大学院大学との間で包括協定を結び、教職員及び学生の交流や共同研究、セミナー等の実施に関して、連携・協力することとしたこと。

4 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価	A (中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。)
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 10 の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

- 特筆すべき点
 - ・ 効果的な教育・研究を推進するため、保護者会、同窓会、経営審議会委員からの意見を聴く機会を持ったほか、卒業生アンケートを実施するなどして、外部からの視点を参考として検討を行ったこと。

5 財務内容の改善に関する目標

評価	A (中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。)
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 11 の小項目のうち、Ⅳ評価が 2 項目、Ⅲ評価が 9 項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

- 特筆すべき点
 - ・ 大学の資産や新たに発生する知的財産を取り扱うための組織のあり方や管理方法などについて、弁理士を交えて検討し、新たに知財管理部門を設置するなど組織改編を実施したこと。
 - ・ 外部資金の導入に積極的に取り組み、「かなびサポーター」制度を中心とした教育研究基金、教職員の研究助成および卒業・修了制作展の開催助成に目標額である 3,000 千円を大きく上回る合計 7,433 千円の寄付を受けたこと。

6 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の7の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

- 特筆すべき点
 - ・ 大学基準協会による認証評価において努力課題と指摘された項目のうち、学部における履修単位登録できる単位数の上限と課程博士の取り扱いについて、改善と見直しを実施したこと。

7 その他業務運営に関する重要目標

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の17の小項目のうち、Ⅳ評価が1項目、Ⅲ評価が16項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

- 特筆すべき点
 - ・ 新キャンパス基本構想検討委員会を発足させ、その検討結果を「金沢美術工芸大学新キャンパス構想」としてとりまとめて設立団体の長（市長）に報告したこと。